

南青葉だより 陽だまり

第23号 発行日：2024年9月1日 発行：南青葉台自治会 事務局

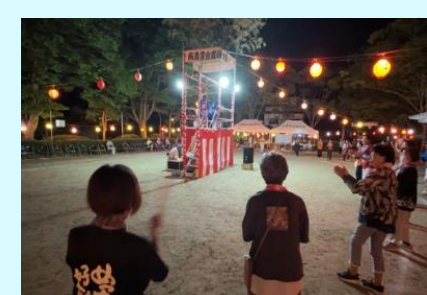
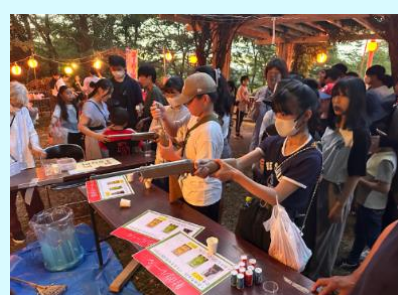
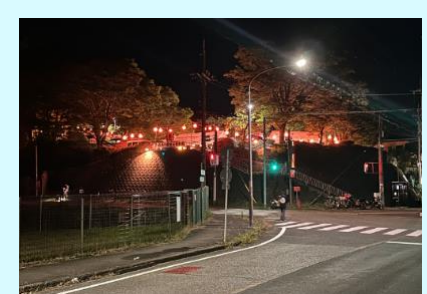
南青葉台納涼祭最高！！

7月の平均気温が過去最高となったなかで、今年も南青葉台納涼祭を7月27日に開催しました。極暑のなかでの開催で、来場者が少ないのではと危惧しましたが、驚くほど大勢の人が来られ安堵するとともに感謝した次第です。

極暑の中、南青葉台自治会と南青葉台納涼祭実行委員会の皆さま方の協力で開催でき、とても素晴らしい仲間の輪ができました。着ている服の色が変わるぐらいの大量の汗、少し意識が朦朧となることもあり、とても大変でしたが、皆様の迅速な行動で完璧な準備ができたことに心よりお礼を申し上げます。

当日は夜店も多数出店、おいしい綿菓子や涼しげなかき氷など、皆様長蛇の列を作りながらも楽しそうな表情でした。

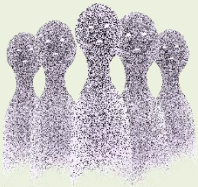
高齢者世代の若かりし時代には、身近なところに神社があり、夏祭りと秋祭りがあり、お祭りが来るのを楽しみにしていた記憶があります。「あの時の納涼祭が楽しかった！」と思って頂けるよう頑張りました。来年は今年以上の内容を実施したいと案を練っています。楽しみに待っていてください。



加賀田地区の民話 第21話

今回も、加賀田在住の妖怪をご紹介します。

「センノウバンノウ マタソノオヤ この村から左に入ったら唐久谷ですわ。その村へ行く途中のところにな、だいぶんと寂しいとこあったんですわな。いや、いまでもあるんですわ。そこにセンノウバンノウ、マタソノオヤという、その何か化け物みたいなもんおったんですな。



ところが、唐久谷のある人が晩におそおそ(遅く)まいった折にな、「センノウバンノウ、マタソノオヤ」ちゅうて頭の上からぬるっとうのぞきよったんですな。その人がそれにびっくりしよってな、家に帰ってきて天井にあがって、ほてもうな、半分ほど気イ狂ったみたいになってしもた話を聞きましたわ。わしの家内かてな、夜さりおそおそにそこを随分通ったことおますんやな。そこ通ったら、こうゾーとしてな、髪の毛もスーっと逆立つような、そんな場所やってんて。あれほんまに怖かったんや。



平成4年刊行「加賀田地区の民話」市教育委員会発行より抜粋

自治会の活動状況と予定

*7月 実績

7月13日 福祉委員会

7月14日 自治会役員会

+納涼祭実行委員会

7月14日 定例役員会

7月17日 スマホ講座②

7月18日 廃品回収日

7月21日 防災委員会

納涼映画音楽祭

(加賀田中学校区青少年健全育成会)

7月27日 納涼祭



*8月 実績&予定

8月 7日 スマホ講座③

8月15日 廃品回収日

8月18日 定例役員会

8月25日 防災委員会

8月31日 健康講座

*9月 予定

9月 8日 定例役員会

9月16日 敬老の日記念品配布

9月19日 廃品回収日

~~10月5日~~ 防災訓練 11月16日に変更

10月12日・13日

加賀田フェスティバル

(加賀田中学校区青少年健全育成会)

編集後記

酷暑の中、まさしく命がけで準備をした納涼祭も無事終了しました。命が削られてゆくような暑さが和らいでゆき、いつの間にか蝉の声が聞こえなくなり、ツバメが去り、虫が鳴き始め、この夏も何とか越せそうだというタイミングで、敬老の日がやってきます。われわれ老人に対するご褒美でしょうか、ありがたいことです。

ひだまりテラス

今年も開催することができました!!

6月29日土曜日の朝、前日の大雨で開催が心配されましたが、当日は奇跡的にも晴天になり、無事に今年第1回目の「ひだまりテラス」をだんじり小屋広場で開催することができました。

この「ひだまりテラス」は、高齢者の方が家を飛び出して地域の人たちと交流できる場として、また、子供たちや若い家族との世代間交流が少しでも進められるよう昨年から企画・開催された催しです。

催しのトップバッターは、中部包括支援センターの方々による健康体操です。今年は特にユーチューブでも話題の子供たちも一緒に楽しく踊って体操できる「ラーメン体操」を披露していただきました。



次は恒例の福祉委員会の皆様による踊りです。「河内音頭」などで会場は最高潮に達しました。

さらに、グリーン・リーブスの皆様方による歌唱が続きます。「有楽町で逢いましょう」など青春時代を思い起こす歌もあってしばし懐かしさに浸りました。



最後は、「ビンゴゲーム」です。一人がビンゴと叫ぶと、子供たちからも大人たちからもビンゴの声が次々とあがり、用意した景品が笑顔の人の胸に抱かれて消えてゆきました。



会場には綿菓子コーナーや、スーパーボールすくいのコーナーもあり、子供たちの歓声が周辺にこだまとなって伝わっていきました。

開催にあたりご協力をいただきました福祉委員会を始めとしたボランティアの皆様方に対し、感謝とお礼を申し上げますとともに、近隣の皆様方には騒音や車の出入り等で大変なご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

秋には場所を変えて開催いたしますので、その時にまたお会いできますことを楽しみにしております。

敬老の日に寄せて

ご長寿、おめでとうございます!!
南青葉台にはご高齢の方がたくさんおられます。

自治会では、毎年敬老の日には70歳以上の方に、ささやかではありますが、お祝い品を贈呈しております。

いつまでもお元気に人生を歩まれることを祈念いたしております。

年齢階層別人口比較

	年齢	15歳未満	15~64歳	65歳以上	計
南青葉台 (R4.12現)	人	122	680	824	1,626
	率	7.5%	41.8%	50.7%	100%
全国 (R5.10現)	万人	1,417	7,395	3,623	12,435
	率	11.4%	59.5%	29.1%	100%

*河内長野市 HP 資料 *令和6年版高齢社会白書

友愛訪問に同行して

南青葉台地域福祉委員会による「令和6年度お一人暮らし後期高齢者“友愛訪問”」に1日だけでしたが、自治会長として福祉委員会の高山会長に同行させていただきました。

今年度の訪問対象戸数94戸を福祉委員14名と福祉協力員5名で5月中旬から約1ヶ月を目標に戸別訪問予定とのこと。

訪問先にお渡しする友愛訪問の趣旨説明書「お一人暮らし高齢者の皆さんへ」と「食品ラップ」を携えて担当グループの対象者リストに従って訪問に出発します。

訪問先では、先ず友愛訪問の趣旨説明をしてから和気あいあいとした会話がすすんで行き、生活で困っていないか、「日常見守り支援者」が居るのかなどを確認して記録シートに記入してゆきます。

このような地道な活動を続けて一人暮らし後期高齢者を見守って頂いていることを知り改めて感謝した次第です。

南青葉台自治会長 播磨



さあ、スマホを操ろう！

デジタル委員会では、昨年に引き続き「スマホ講座」を開催しています。今年度は、すでに6月26日、7月17日、8月7日の3回、河内長野市から講師派遣の形で行いました。

昨年度も、この形と従来のデジタル委員会の講師による講座の2パターンで進めてきましたので、基本形は同じです。派遣講師はスマホの基本操作を、デジタル委員会講師は自治会ホームページを中心に講座を行うので、受講される方々も選べて便利なのではないかと思います。

しかし、いずれもが共通して「スマホを操る」の練習です。デジタル委員会講師の講座の際には「自治会ホームページを練習に使ってほしい」とお伝えしております。

ぜひ、臆することなくバチバチっとスマホに触れましょう！回数こそ上達のコツです。ではスマホ講座でお会いしましょう。

